

泉南市のお財布事情

令和4年度決算



泉南市マスコットキャラクター

せんなんくまじろう
「泉南熊寺郎」“せんくま”

泉南市 総務部 財政課

～ もくじ ～

①「財政」とは	1ページ
②令和4年度決算の概要	2ページ
③歳入決算～収入の状況～	3ページ
④歳出決算～支出の状況1～	4ページ
⑤歳出決算～支出の状況2～	5ページ
⑥市債の状況	6ページ
⑦基金の状況	7ページ
⑧市民一人あたりの金額	8ページ
⑨財政指標	9ページ
⑩特別会計・企業会計	10ページ
⑪今後の見通し	11ページ



①「財政」とは

「財政」

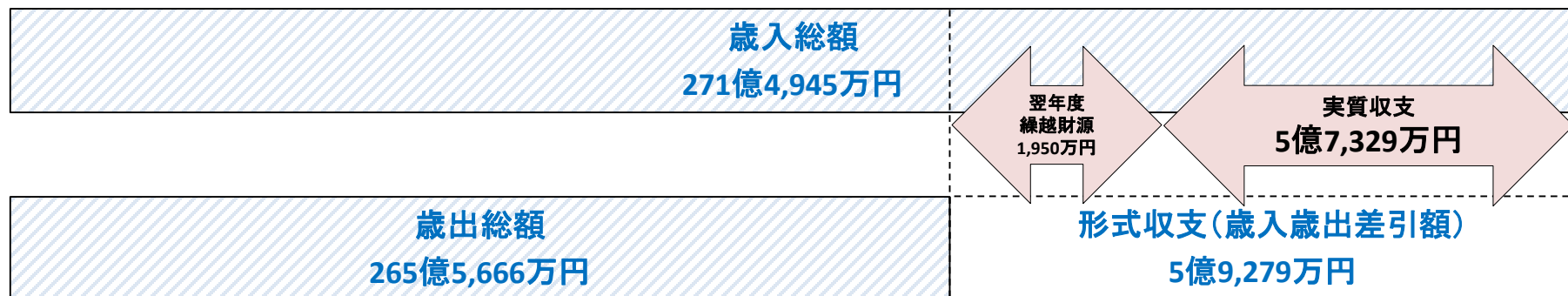
市民のみなさんに納めていただいた税金などのお金を、何に使うのか。
そのお金のやりくりのことを「財政」といいます。

「予算」と「決算」

「予算」とは、お金のやりくりの「計画」のことです。
「決算」とは、1年間のお金のやりくりの「結果（実績）」のことです。



②令和4年度決算の概要



令和4年度の普通会計収支

歳入（収入） 271億4,945万円

歳出（支出） 265億5,666万円

形式収支 5億9,279万円の黒字

実質収支 5億7,329万円の黒字

形式収支は歳入から歳出を引いたもの。

実質収支は、形式収支から翌年度に繰り越す事業の財源として使う額を引いたもの。

その年の決算が赤字か黒字かは実質収支で判断されるでござる。



【普通会計】

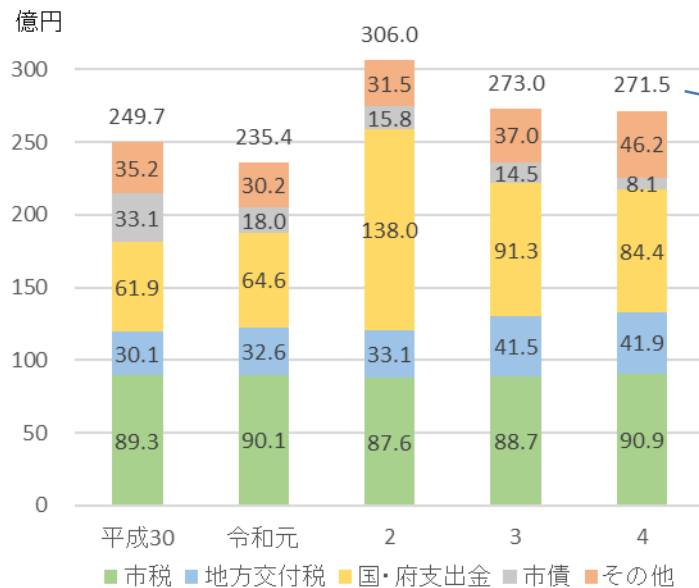
地方自治体の会計（お金の出入りを管理する財布）には、市の基本的な行政サービスを行う一般会計と、特定の目的を持った特別会計があります。

特別会計の範囲は、法律で定められた事業（国民健康保険や介護保険などの事業）を除き地方自治体によって異なるため、統一的な基準で比較などを行うために用いられるのが普通会計です。

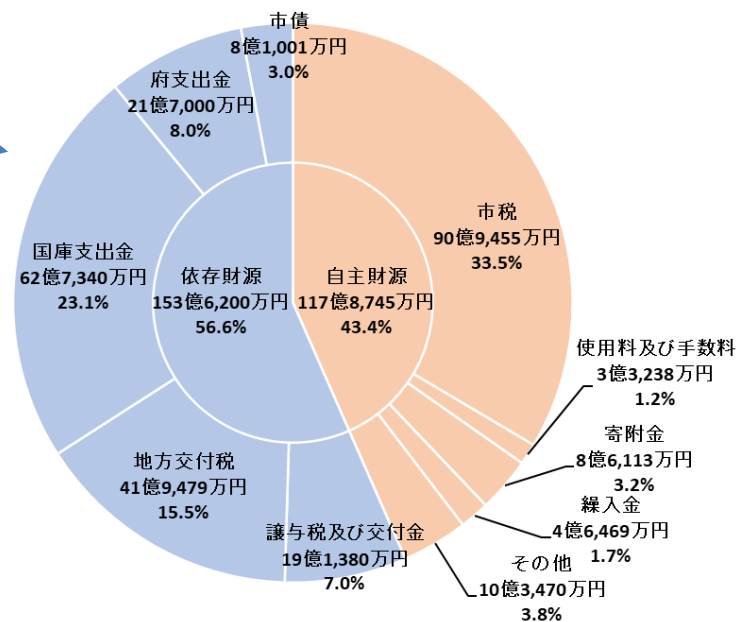
泉南市では、一般会計及び公共用地取得事業特別会計が対象となります。

③歳入決算～収入の状況～

①歳入決算額の推移



②歳入決算額の内訳



歳入決算の分析

- ★ 市税収入は90億円前後で推移。令和2年度は、新型コロナの影響により徴収を猶予したことで減少したが、その後回復傾向にある（グラフ①）
- ★ 令和2年度以降の国・府支出金は、各種の特別給付金や新型コロナ対策の経費に対する財源として、大幅に増加（グラフ①）
⇒ 依存財源の割合が高い原因！（グラフ②）

【**自主財源**】市税など、市が自主的に収入できるお金

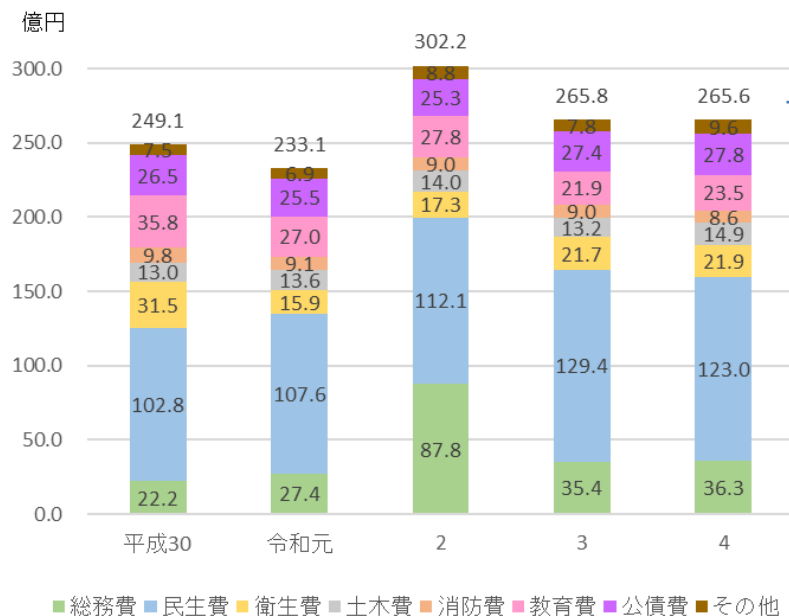
【**依存財源**】国や大阪府からの補助金など、市が自主的に収入できないお金

【**地方交付税**】地方公共団体間の財源の不均衡を調整するため国から交付されるお金

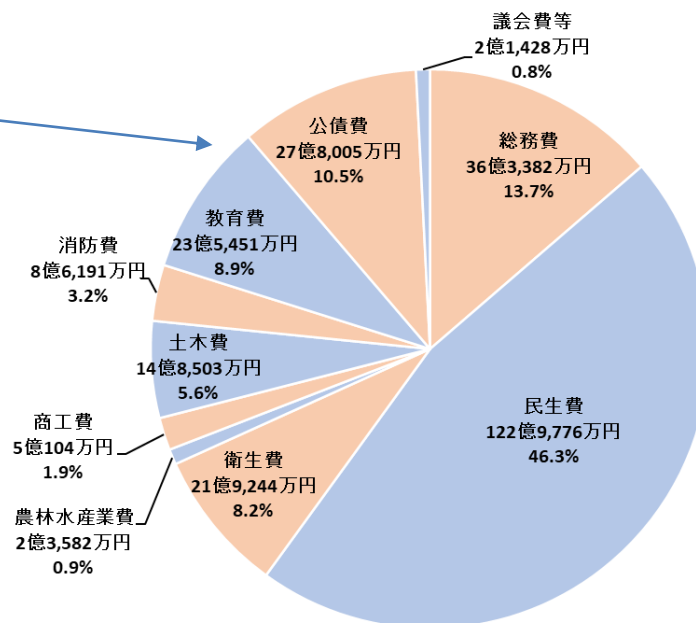
④歳出決算～支出の状況1～

目的別

①歳出決算額（目的別）の推移



②歳出決算額（目的別）の内訳



歳出決算（目的別）の分析

- ★ **民生費**は、**社会保障関係経費**の増加に伴い**年々増加傾向**にあるが、特に近年は、**各種の特別給付金**により**大幅に増加**（**グラフ①**）
⇒歳出全体のうち、**ほぼ半分为民生費**！（**グラフ②**）
- ★ 令和2年度の**総務費**は、**一人10万円の特別給付金**により**例年より大幅に多い**（**グラフ①**）

【目的別】支出を「仕事の内容」で区分したもの

【総務費】市役所の全般的な事務に使うお金

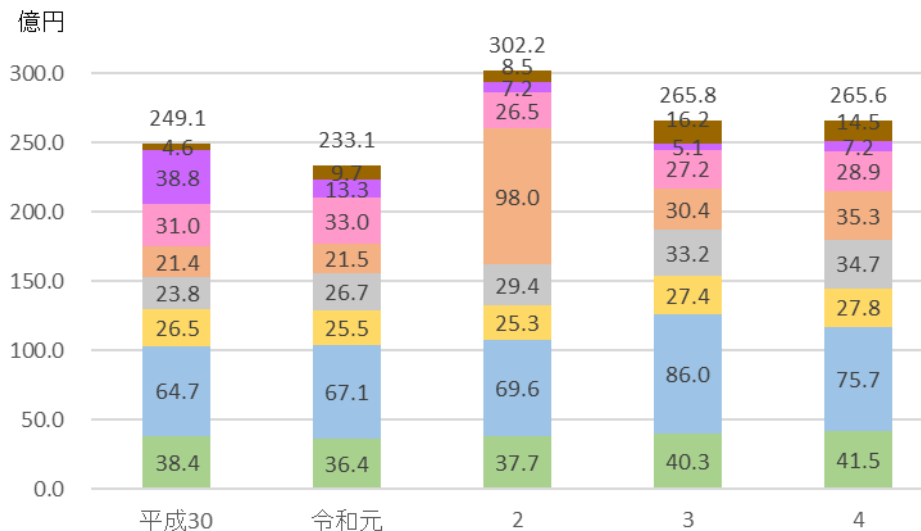
【民生費】幼児や高齢者、障害者福祉等に使うお金

【衛生費】ごみ処理や予防接種等に使うお金

⑤歳出決算～支出の状況2～

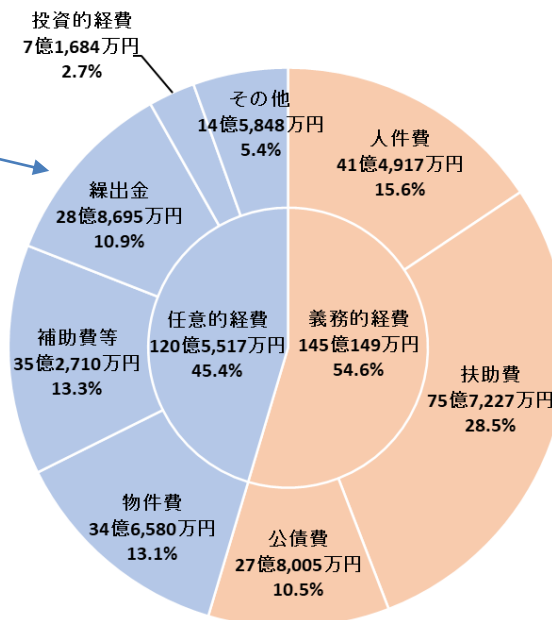
性質別

①歳出決算額（性質別）の推移



■ 人件費 ■ 扶助費 ■ 公債費 ■ 物件費 ■ 補助費等 ■ 繰出金 ■ 投資的経費 ■ その他

②歳出決算額（性質別）の内訳



歳出決算（性質別）の分析

- ★ 社会保障関係経費である扶助費は、高齢化の影響などにより増加傾向にあるが、特に近年は、各種の特別給付金により大幅に増加（グラフ①）
⇒ 扶助費の増加や、特例的な市債の発行により公債費が多いため、義務的経費の割合が高い！（グラフ②）
- ★ 令和2年度の補助費等は、一人10万円の特別給付金により例年より大幅に多い（グラフ①）

【性質別】支出を「どんなことに使ったか」で区分したもの

【義務的経費】支出が義務付けられ、削減することが難しい経費 ⇔ 任意的経費

【公債費】市債(借金)の返済に要する経費

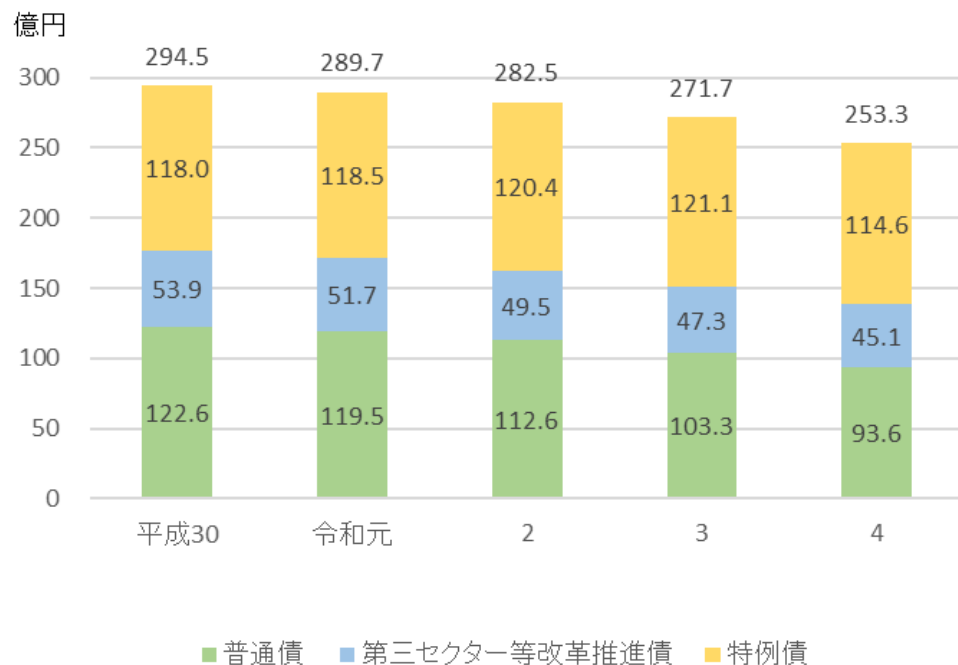
【補助費等】団体や個人に対する補助金や負担金

⑥市債の状況

「市債」は、公共施設の整備等、多額のお金が必要になる事業に活用する、いわば「市の借金」です。

後年には「公債費」として借金の返済をしていく必要がありますが、公共施設は現在の市民だけでなく、将来の市民も利用するものであるため、**現在の市民と将来の市民が平等に費用を負担する**という観点からも、市債を活用しています。

市債残高の推移



市債の分析

★ 現在高は、市債全体としては、償還額（返済額）の方が発行額（借入額）より多いため、**減少傾向**にある。しかし、**臨時財政対策債**をはじめとした**特例債**は、**増加傾向**にある。

また、平成25年度において、土地開発公社の解散に伴い発行した、特例的な市債である**第三セクター等改革推進債**の、残高に占める割合が大きい。

【普通債】 公共施設等の整備のために発行する市債

【特例債】 財源不足を補填するために特例的に発行する市債

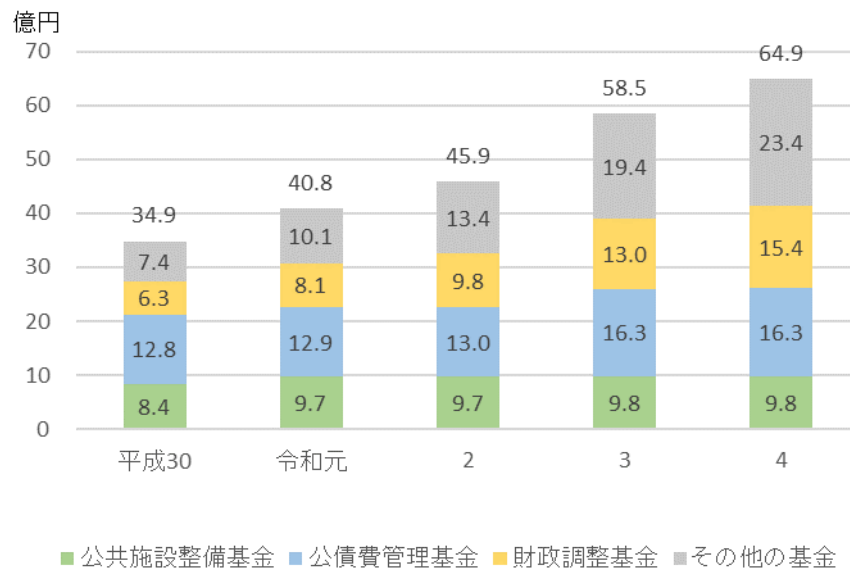
【臨時財政対策債】 国が地方交付税を全額準備できない場合に、不足する分を地方自治体に一旦借金させる形で補い、後から**地方交付税として補てん**される市債

⑦基金の状況

「基金」は、いわば「市の貯金」です。

泉南市には、年度間の財源の不均衡を調整する「財政調整基金」をはじめ、市債の償還（借金の返済）に活用する「公債費管理基金」や、施設整備に活用する「公共施設整備基金」など、合計9つの基金があります。

基金残高の推移



【その他の基金の内訳（令和4年度末残高）】

- ★ふるさと泉南水なす基金（17.9億円）
- ★緑化基金（2.2億円）
- ★森林環境譲与税基金（0.2億円）
- ★地域福祉基金（2.8億円）
- ★ふるさと創生事業推進基金（0.2億円）
- ★教育振興育英奨学基金（0.1億円）

基金の分析

- ★ 「財政調整基金」は、前年度繰越金の一部などの積立てにより、増加傾向にあります。

令和4年度末の残高は、目標としていた15億円以上となり、今後もその水準を維持していきます。

- ★ 令和3年度の「公債費管理基金」は、地方交付税において臨時的に措置された収入（臨時財政対策債償還基金費）を積立てたことにより大きく増加しました。

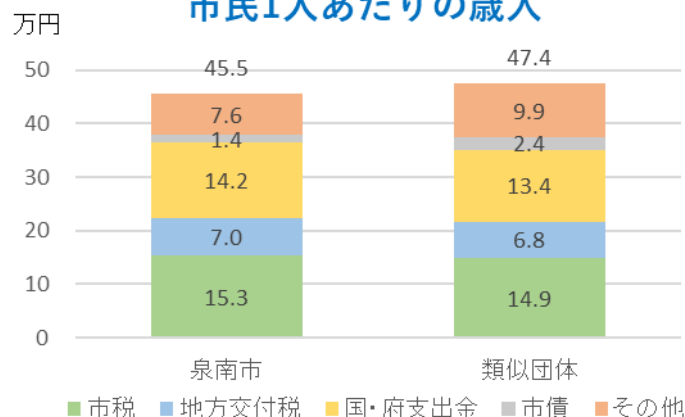
⇒後年に借金返済のため取崩し

- ★ その他の基金は、主にふるさと納税を積み立てる「ふるさと泉南水なす基金」が、ふるさと納税の伸長に伴い増加しています。

⑧市民1人あたりの金額

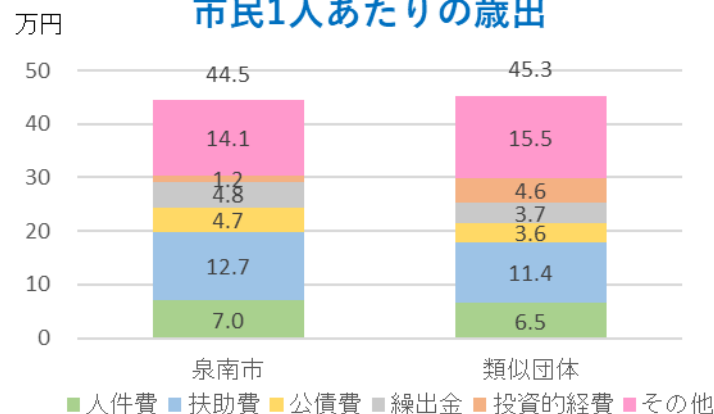
類似団体との
比較

市民1人あたりの歳入



★ 市税収入や地方交付税は類似団体と同水準となっています。市債は、普通建設事業が少なかったため、類似団体より少なくなっています。

市民1人あたりの歳出

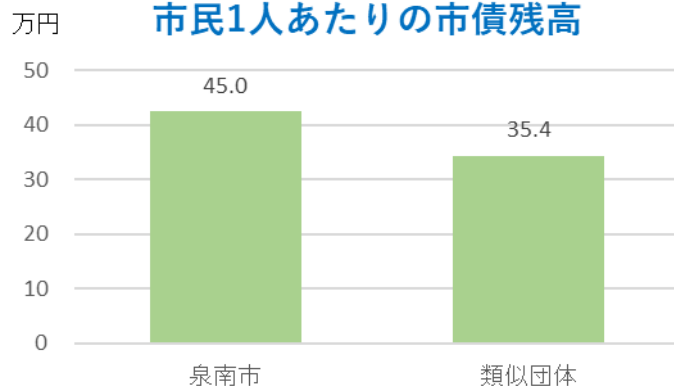


★ 第三セクター等改革推進債の影響で、公債費は類似団体より多くなっています。投資的経費は、普通建設事業が少なかったため、類似団体より少なくなっています。

【類似団体】人口と産業構造の2つの要素の組合せによって市町村を分類し、同じ類型に属する団体の総称

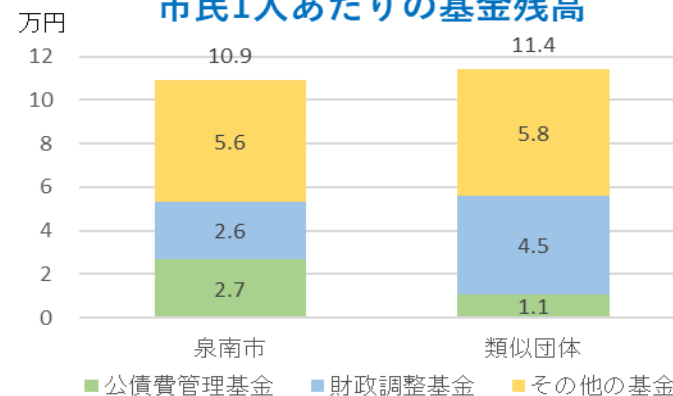


市民1人あたりの市債残高



★ 平成25年度において、土地開発公社の解散に伴い、特例的な市債である第三セクター等改革推進債を発行したため、類似団体と比較して多くなっています。

市民1人あたりの基金残高

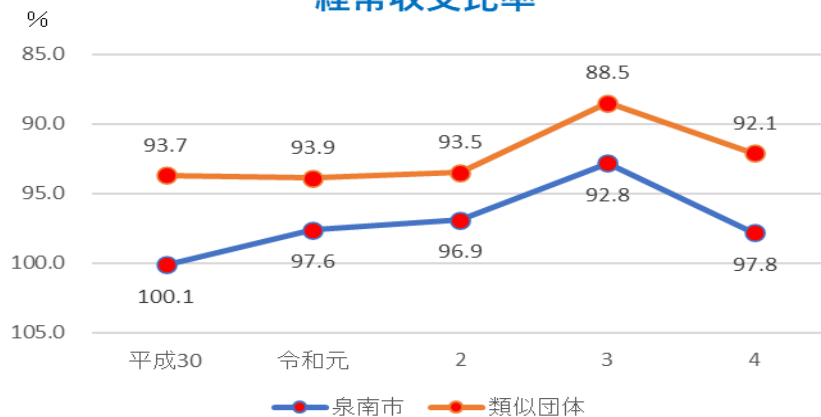


★ 財政調整基金の残高は少ないですが、「ふるさと泉南水なす基金」が、ふるさと納税の伸長により増加傾向にあるため、類似団体と同水準となっています。

⑨ 財政指標

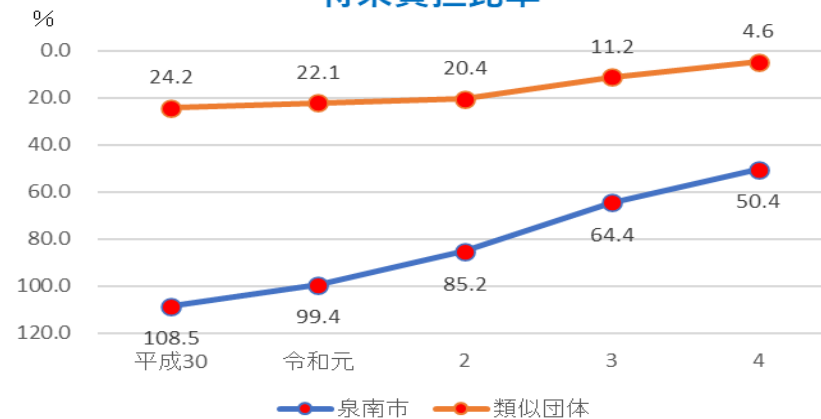
市の財政の健全性を
判断する指標！

経常収支比率



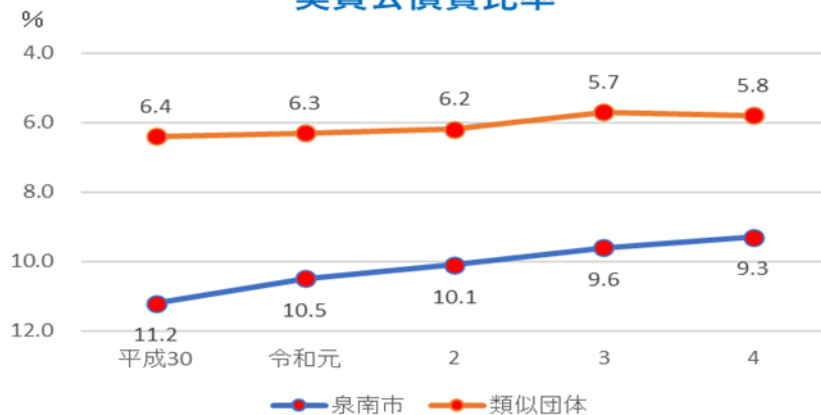
★ 経常的な歳出に対する歳入の割合であり、**財政のゆとり**を示す指標。100%を超えると、財源が不足する状態。

将来負担比率



★ 標準的な1年間の収入に対する、借金返済などの**将来負担**しなければならない**お金の割合**を示す指標。

実質公債費比率



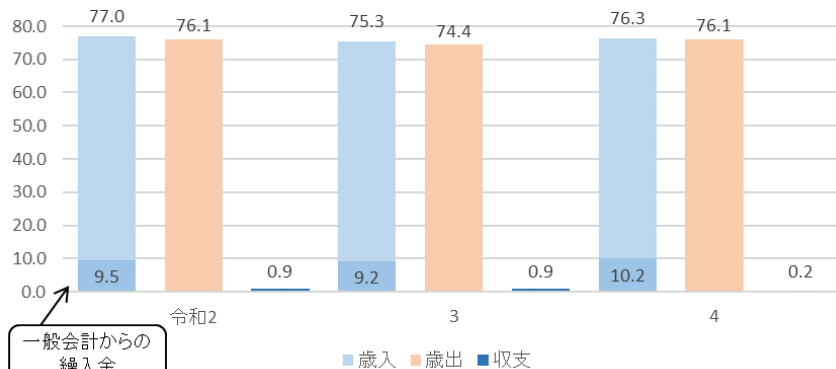
★ 標準的な1年間の収入に対する、年間の**借金返済額の割合**を示す指標。

財政指標の分析

- ★ 経常収支比率は、**地方交付税の増加**等により歳入が増えたことで、**改善傾向**。なお、令和3年度の大幅な改善は、**地方交付税の臨時的な増加**によるもの。
- ★ 将来負担比率・実質公債費比率も、**地方交付税の増加**や、**市債の返済額や残高の減少**により、**改善傾向**。
- ★ しかし、土地開発公社の解散に伴い発行した、特例的な市債である**第三セクター等改革推進債**により**市債に係る負担が大きい**ため、類似団体と比較した各指標は**高く（悪く）**なっている。

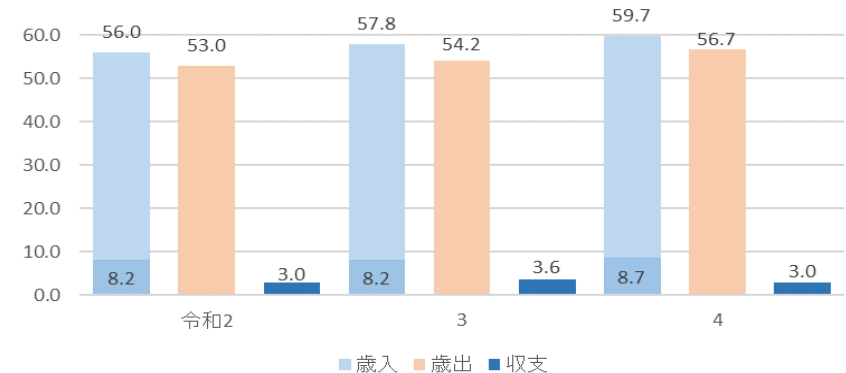
10 特別会計・企業会計

国民健康保険事業特別会計



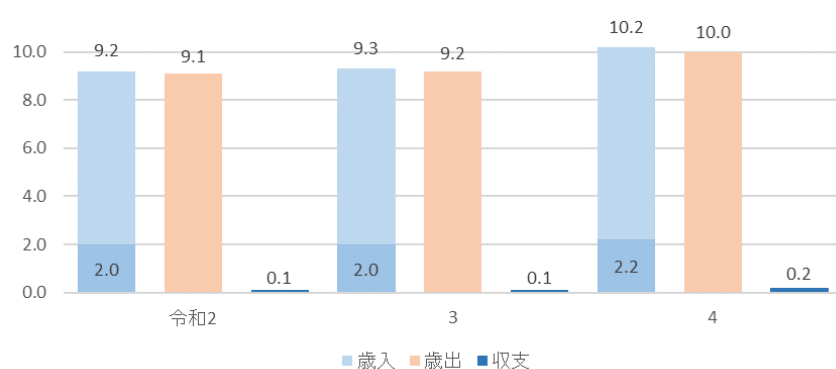
- ★ 国民健康保険に係る事業を運営する同会計は、泉南市においては加入者数が多いため、決算規模及び一般会計からの繰入金は比較的高水準となっています。

介護保険事業特別会計



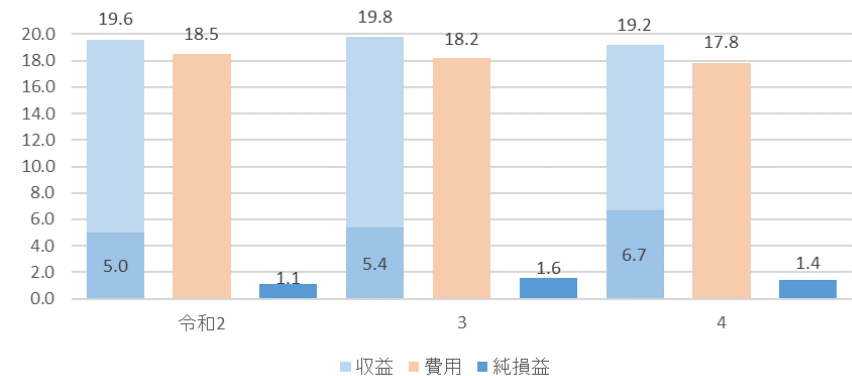
- ★ 介護保険に係る事業を運営する同会計は、高齢化の進行により、決算規模が拡大傾向にあります。

後期高齢者医療事業特別会計



- ★ 後期高齢者医療に係る事業を運営する同会計は、75歳以上の後期高齢者の増加により、決算規模が拡大傾向にあります。

下水道事業会計



- ★ 公営企業会計（民間企業と同じ会計方式）にである同会計は、下水道普及率が低く使用料収入が少ないため、一般会計からの繰入金に頼るところが大きくなっています。

11 今後の見通し

中期財政収支見通し

歳 入	(決算)							(単位：百万円)
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
市税	9,096	9,066	8,970	8,991	9,004	8,908	8,921	
地方譲与税	159	165	167	167	167	167	167	
各種交付金	1,755	1,849	1,842	1,842	1,842	1,842	1,842	
地方交付税	4,195	3,971	4,259	4,218	4,213	4,240	4,199	
使用料及び手数料	332	326	318	317	317	317	317	
国・府支出金	8,443	8,405	7,340	7,452	7,729	7,513	7,301	
繰入金	464	874	1,026	836	836	836	836	
地方債	810	1,084	952	1,517	1,833	2,493	2,145	
その他	1,896	1,723	1,172	1,129	1,129	1,129	1,129	
合 計	27,150	27,463	26,046	26,469	27,070	27,445	26,857	

歳 出	(決算)							
	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
人件費	4,149	4,203	4,367	4,219	4,312	4,124	4,218	
物件費	3,466	3,425	3,308	3,678	3,291	3,252	3,240	
扶助費	7,574	7,765	7,445	7,477	7,510	7,554	7,601	
補助費	3,529	2,942	2,631	2,444	2,656	2,653	2,687	
公債費	2,780	2,479	2,422	2,355	2,251	2,207	2,132	
積立金	1,105	1,300	836	815	815	815	815	
繰出金	2,888	2,904	2,965	3,050	3,066	3,081	3,096	
投資的経費	717	1,942	1,611	2,139	2,945	3,486	2,814	
その他	352	461	517	528	712	891	994	
合 計	26,560	27,421	26,102	26,705	27,558	28,063	27,597	

形式収支	590	42	-56	-236	-488	-618	-740
実質収支	573	42	-56	-236	-488	-618	-740

泉南市中期財政計画より抜粋： <https://www.city.sennan.lg.jp/kakuka/soumu/zaisei/zaisei/1581572713793.html>

収支見通しの分析

- ★ 歳入の根幹をなす市税収入は、人口減少に伴う減少傾向が予想される。
- ★ それに対し歳出面では、少子高齢化社会の進行に伴う社会保障関連経費や、老朽化した公共施設の更新や長寿命化に係る経費、また、物価高騰に伴う経費などの増加が見込まれることから、財政運営は厳しい状況となる

～持続可能な財政運営のために～

- ・業務改善のためのデジタル化の取組
- ・地域の魅力を発信するシティプロモーションの取組
- ・効率的な財政運営のための公共施設マネジメントの取組や計画的な市債の発行
- ・安定的な財政運営のための市税やふるさと納税など自主財源の確保

などの取組を、中長期的な将来推計を踏まえたうえで推進していく必要があります。

